



クラウドファンディングをつうじた銚子市の地域活性化事業に対する支援について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2017年8月9日（水）、銚子信用金庫（理事長 松岡 明夫）、銚子商工信用組合（理事長 伊東 輝侑）とともに、銚子市（市長 越川 信一）における地域活性化事業に対して、クラウドファンディングをつうじた支援を行いましたので、お知らせします。

本事業は、人口減少が続く銚子市がまちおこしとして官民連携で取り組む「銚子スポーツタウン」構想の中核事業で、交流人口の増加につなげるべく、10年近く利活用の方法が決まらなかった旧銚子市立銚子西高等学校をスポーツ合宿施設として再整備する公益性の高い事業であり、当行を含む地域金融機関3行（庫）は本事業の中核事業体である株式会社銚子スポーツタウン（代表取締役 小倉 和俊）に対し、協調融資による金融支援を行っています。

さらに、この度、3行（庫）は協調してクラウドファンディングに各100万円、総額300万円を拠出したしました。なお、クラウドファンディングにより集まった資金はおもに合宿設備の整備費用に充てられます。

加えて、3行（庫）は、大口支援者に与えられるグラウンドのネーミングライツ（命名権）を一般公募にするなど、クラウドファンディングにおける返礼特典を本事業のプロモーション活動に活用していただくべく、今後、銚子市や事業体と協議してまいります。

当行は今後とも地域のトップバンクとしてグループをあげて「地方創生」に積極的に取り組み、地域社会の持続的な発展及び活性化に貢献してまいります。

以 上